

11人が
質問しました。

3月定例会

3月定例会

■ 一括質問
■ 一問一答

1	南藤 陽一 議員	● 「Go Around こまつ」 part2について	6 ペー ジ	2	竹田 良平 議員	● 新型コロナウイルスのワクチン接種について ● 融雪装置について ● インクルーシブ公園の整備について	6 ペー ジ
3	吉田 寛治 議員	● 新幹線駅構内のライブラリー建設について	7 ペー ジ	4	岡山 晃宏 議員	● アフターコロナでの観光誘客について ● 未就学児対象の国民健康保険税の均等割の軽減策について	7 ペー ジ
5	東 浩一 議員	● ワクチン接種について ● クマ出没の対策について ● 大雪被害の農業施設への支援について	8 ペー ジ	6	片山 瞬次郎 議員	● 新型コロナワクチン接種体制 ● 小松市の生物多様性への取組 ● Society 5.0での図書館の考え方 ● 里山地域での学校跡地活用	8 ペー ジ
7	橋本 米子 議員	● 新型コロナ禍の下、市民生活に寄り添う市政を ● 小松市介護保険事業計画について ● 後期高齢者医療制度について	9 ペー ジ	8	宮西 健吉 議員	● 犬丸保育所民営化について ● 会計年度任用職員について	9 ペー ジ
9	吉本 慎太郎 議員	● 住みよい街『小松』定住支援制度のさらなる充実を! ● 「2024」新幹線開業に向けて	10 ペー ジ	10	表 靖二 議員	● 財政について ● 公立小松大学について ● 粟津駅の整備について	10 ペー ジ
11	木下 裕介 議員	● コロナ禍で影響を受けるひとり親家庭への支援について ● 新型コロナワクチン接種と差別について	11 ペー ジ				



南藤 陽一（なんとう よういち）議員

一括質問

内なる地元消費喚起策の

早期実施を！

◆「Go Aroundこまつ」 part2について

Q お店があればこそ「Go Aroundこまつ」である。厳しい状況を強いられている事業者に対し、さらなる支援を要望するが本市の見解は。

A 当初予算では準備費のみの計上だが、制度開始にふさわしい時期が来たら速やかに決断し、すぐに発行出来る体制をとっている。

Q 前回の「Go Aroundこまつ」part1の実施を受けて、市民の皆様や登録業者のご意見を踏まえた本市の見解は。

A 市民や商売されている方からは大変有意義だったと高い評価をいただき、地元の味や店を守るという制度の趣旨にご賛同いただくことが出来良かったと思っている。

Q 今回の「Go Aroundこまつ」part2について、プレミアム率は前回同様の100%とし、販売冊数は欲しい人全てに行き渡るように一人一冊購入出来る予算規模を要望するが、前回との変更点は。

A 基本的には前回同様の方法で行う予定で、購入についても世帯単位を考えているが、コロナの収束を考え、前回の2倍の発行規模を考えている。また販売方法は3密防止等から市内の郵便局と連携出来ないか調整をしている。

Q コロナ禍を乗り切るためには感染拡大防止と経済活動の両立は極めて重要であると考える。「Go Aroundこまつ」part2の実施時期について、国の状況にかかわらず、本市の感染拡大が収まったと判断した時期に、速やかに実施していただきたいと考えるが本市の見解は。

A これから始まるワクチン接種で収束を図ることが第一であり、専門チーム等でより安心な形で市民が接種出来るよう取り組んでいく。コロナが収束し、日常生活が戻り買い物や食事を楽しめるような時期を送れるように共に頑張っていきたい。



竹田 良平（たけだりょうへい）議員

一括質問

ワクチン接種・融雪装置・インクルーシブ公園の3点

◆新型コロナウイルスのワクチン接種について

Q 集団接種会場における医療従事者や運営に携わる方々について、どのような体制で臨むか。

A 医師・看護師のチームと薬剤師会、公立小松大学保健医療学部と小松看護学院の医学的知識を持った学生、市職員総出のチームでコミュニケーションを重ね、ワクチン接種体制を構築していく。

Q 本市の対応について、web予約システムの準備状況は。

A 電話予約だけでなく、ウェブによる予約も実施。ウェブでは、24時間予約が可能である。詳細については協議を重ねている。高齢の方には、ご家族やご近所の応援をお願いしたい。

◆融雪装置について

Q 市道の設置箇所および総延長は。

A バス路線、集落間の幹線道路、人家連櫓（れんらん）区間、踏切道、橋梁区間、急な坂道、学校等公共施設周りを中心に設置している。

市道においては、現在116箇所、

総延長約742キロである。

Q 1月の積雪の際には融雪装置で水が出なかった箇所があった。更新や修繕など今後の見込みは。

A 消費井戸は、ほぼ全ての井戸で材質をFRP管に更新。消費パイプも材質を塩化ビニール管に更新し、長寿命化を図っている。また、毎年11月末までにノズル点検等を実施している。今後は点検体制の強化や、出動のタイミング、除雪工リアについて改善し、降雪対策の改善を図る。

◆インクルーシブ公園の整備について

Q インクルーシブという言葉は「包み込む」という意味がある。つまりインクルーシブ公園とは障害のあるなしに関わらず、皆が一緒に遊べる公園のことを指す。小松市でも整備をしようか。

A 芝生広場やトイレなどがあり多くの利用を見込む一定規模以上の近隣公園を対象に、遊具などの普及を図ってまいりたい。今後、長寿化計画を見据え、検討を加えていく。



吉田 寛治(よしだ かんじ)議員

一括質問

新幹線駅構内のライブラリー 建設について

Q 図書館のことを質問させていただけます。これまで議会で私は繰り返し複合的な図書館の必要性を述べてきましたが、12月の議会でも、今ある古い図書館を安心安全に使い続けるというような内容の答弁しかいただけていませんでした。

ところが担当者にお尋ねしたところ、新幹線の駅構内に、ライブラリーを作るといってお話を伺っています。駅を利用する方にとっては、便利かもしれませんが、それは、駅内の図書のコナーに過ぎず、私達が求めている複合的な図書館とはあまりに違うということはお話させていただきますしたいと思います。

そのようなものを作ることで、他の自治体にあるような複合的な図書館を作ることにブレーキをかけるようなことがあつては、大変困ります。どのようなお考えで計画を進めておられるのか、ご見解を伺います。

A 新幹線を含めた駅下、この部分の活用について、議会の皆さん、市民の皆さん方と議論をしてきました。パブリックコメントを取ったり、いろんな形でご意見も拝聴しながら行ってきました。1年前の議会でも、議員の皆さんからも予算等についても賛成いただいたています。1年前に絵をお見せしたラウンジを含めた駅ナカについて、基本設計を終わりました。JR西日本との連携の下、約2年後を目指してオープンしていきたいと思っています。議員が希望する図書館と幾分違いがあるかもしれませんが、ご意見があれば言っていたきたいと思います。

新しい図書館については、どういうものをお求めなのか、場所を始め、具体的に言っていたきたい。たくさん市の民にそれぞれ思いがいろいろあります。そういったこと一つにしても大変難しいご提案で、漠然とした抽象的な要望であると申し上げたい。



岡山 晃宏(おかやま あきひろ)議員

一括質問

アフターコロナでの 観光誘客について

Q 新幹線小松開業に向け、1次、2次、3次産業それぞれのプロの強みを生かし、コラボすることで第2、第3の名物となるお土産を開発してはどうか。

A 小松産の素材を生かした151商品を中心もブランドとし、認定してきた。辻口パティシエとコラボした大麦パウムなど、トマトや米を使った商品や地酒など品ぞろえも豊富である。今年度は打木みょうこう柿を利用したケーキを辻口氏と開発し、販売した。赤瀬町のサルナシ、小松産大麦ビールや九谷焼とコラボした商品も開発中である。

Q 小松に興味を持って頂ける方に対し、積極的に出向いて、現地の人に食や体験を通してアピールしていくことが必要ではないか。

A 交流のある都市や奥の細道サミットなどのイベント参加、都市圏でも歌舞伎座や国立劇場、県のアンテナショップなどに出席してきた。また、国際規模のフェアや海外での商談会への参加などインバウンド誘客にも努めてきた。今後は、都市圏での企画展示「これからの小

松のものがたり」の開催や九谷焼アートイベントも予定している。

◆未就学児対象の国民健康保険税の均等割の軽減策について

Q この制度の目的は。

A 小松市国保運営協議会の「新型コロナの影響により経済的負担が大きい子育て世帯へ配慮が必要」との答申を踏まえ、令和3年度に限り18歳未満の均等割の1/2軽減を実施し、子育て世帯を支援する子供1人当たりの軽減金額は年額で5、925円から1万9、750円となる。

Q 世帯主の転職や年度の途中で18歳になった場合の対応と周知の方法について。

A 国保税の賦課期日は4月1日であり、年度途中の加入や、年度途中で18歳になった場合でも加入した年度の4月1日時点で軽減の対象となる。7月の国保税決定通知で個別にお知らせする。また、広報こまつ、ホームページ等を活用して周知を図る。



東 浩一（ひがしこういち）議員

一括質問

コロナワクチン接種・こまつクマ 出沒防止プラン・農林業について

◆ワクチン接種について

Q 人員体制・会場は。

A 集団接種は、市民センター、第一地区コミュニティセン

ター、こまつドームの3カ所を選定現在、小松市医師会で医師・看護師等を調整している。その他公立小松大学、小松看護学院の学生や教員にも応援いただく。個別接種でも市内の病院や栗津診療所等の複数の診療所で実施が出来るよう医師会で調整している。

Q 交通弱者等にかかる送迎は。

A 「在宅で生活している方」で支援を必要とする高齢者、病気・障がいを持ち、移動が困難な方などは、福祉タクシー券による運賃の助成を検討したい。一人一人ケースが違いため、個人の状況に応じた一番的確な方法を取っていきたい。

◆クマ出沒の対策について

Q こまつクマ出沒防止プランは。

A 本年度の状況を踏まえ、人身被害の防止及び人と野獣のす

み分けの実現を目指し、3つの施策①ゾーニング管理②配備体制の確立③普及活動の推進で構成される「こまつクマ出沒防止プラン」を策定した。

Q 被害に対する仕組みづくりは。

A クマ出沒・遭遇時に備えて、わが家の防災ファイルや広報等で引き続き啓蒙普及を図る。また、「クマ出沒対策助成金」についても、より効果的な内容で支援拡大を図っていく。今後市内において人的・物的被害が発生しないような環境づくりを目指していく。

◆大雪被害の農業施設への支援について

Q 暴風雪被害対策支援は。

A 国では平成30年の大雪時に実施した「農業施設等雪害緊急復旧対策事業」と同様の支援策を今回も予定している。本市でも国の制度と合わせ、県、JA小松市等、関係団体と連携し、被災された従事者の不安に応え、一日も早く復旧出来るよう支援を迅速に行っていく。



片山 瞬次郎（かたやましゅんじろう）議員

一括質問

新型コロナワクチン接種の取組

◆新型コロナワクチン接種体制

Q 接種計画状況は。予防接種台帳のシステムは。

A 個別接種も集団接種も大体の目的が立ってきている。デジタルデータの活用が大事。接種状況を管理していきたい。

Q 医師会、薬剤師会との連携は。

A 医師会、薬剤師会、大学等の協力が得られることとなっている。

Q 優先される高齢者施設等の従事者とは。

A 利用者に直接接する職員が対象となる。

◆小松市の生物多様性への取組

Q 多様性の保全への基本計画は。

A 今年度策定予定の第3次環境プランにより、引き続き生物多様性の保全を推進していきたい。

Q 絶滅危惧種等、外来種状況は。

A 本市では、動物218種類、植物125種類。アライグマ等地域ぐるみの防除対策を推進している。

Q 「共生の丘」大鷹の追跡調査は。

A 平成25年～31年迄で計6回実施している。

◆Society 5.0での図書館機能の強化について

Q 図書館機能の強化について。

A 大学等の図書館、民間団体等との連携協力が重視されている。最新知識が提供出来るよう努める。

Q 市立図書館の専門的情報は何か。

A 郷土資料2万7千点等を所蔵し、調査研究を担う役割がある。財政逼迫、高齢化の進展、施設長寿命化の中での図書館。読書の支援、情報サービスの機能強化が必要。ハイブリッド機能を備えた図書館を目指す。

Q 新幹線小松駅のライブラリーについて。

A 令和5年の春、「駅ナカ図書館」がオープンする予定。

◆里山地域での学校跡地活用

Q カーボンフリー次世代自動車への取組について。

A ㈱タジマモーターCO.が超小型EV生産開始に向け、旧金野小を活用し研究開発を行う意向。